

Social

人財

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

人権

責任ある調達

品質、顧客満足

社会貢献活動

▶ **エグゼクティブサマリー**


社会貢献活動

社会データ

社会貢献活動

基本的な考え方

日立は、日立グループ・アイデンティティのもと、社会貢献活動を社会価値と環境価値の創出に貢献し、社会と事業の持続的な発展に寄与する重要な活動と位置づけています。社会課題を解決するためのイノベーションを創出し、社会的インパクトおよびSocial Goodをもたらすのは人そのものに他ならない、という考えから「人を育み、未来へ繋ぐ」を社会貢献ステートメントに掲げています。

テーマ	概要	目標/KPI・実績
 社会貢献活動	<p>社会貢献活動方針のもと、「STEAM(Science, Technology, Engineering, Arts and Mathematics)」「環境」「地域貢献」の3分野でグローバルにおいてさまざまな活動を展開しています。</p> <p>また、社会貢献活動における従業員のエンゲージメント向上をめざし、従業員と会社が一体となって寄付を行う社会貢献スキーム(マッチングファンド)を導入しています。</p> <p>さらに、公益財団法人 日立財団にて、「学術・科学技術の振興」「人づくり」「多文化共生社会の構築」の3分野を中核領域に据えた社会貢献活動を展開しています。</p>	<p>Hitachi Young Leaders Initiative 参加人数</p> <p>2022年度実績：30人 (1996年からの累計：405人)</p> <hr/> <p>日立ハイテクの理科教育支援活動参加人数</p> <p>2022年度実績：62,487人 (1990年からの累計：367,362人)</p>

Social

人財

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

人権

責任ある調達

品質、顧客満足

社会貢献活動

エグゼクティブサマリー

社会貢献活動

社会データ

社会貢献活動

GRI 2-24 / 201-1 / 203-1 / 413-1

社会貢献活動の考え方

考え方

日立は、日立グループ・アイデンティティのもと、社会貢献活動を、社会価値と環境価値の創出に貢献し社会と事業の持続的な発展に寄与する重要な活動と位置づけており、事業拠点のある地域を中心に積極的に推進しています。社会課題を解決するためのイノベーションを創出し、社会的インパクトおよびSocial Goodをもたらすのは人そのものに他ならない、という考えから「人を育み、未来へ繋ぐ」を社会貢献ステートメントに掲げ、「STEAM(Science, Technology, Engineering, Arts and Mathematics)」「環境」「地域貢献」の3分野でさまざまな活動を行っています。これらの分野における活動は、2024中期経営計画で掲げている「グリーン」「デジタル」「イノベーション」の成長ドライバーの一翼を担っています。また、2022年度に策定したマテリアリティでは、次世代人財育成に関するKPIを定めて活動を推進しています。

[社会貢献活動方針](#)

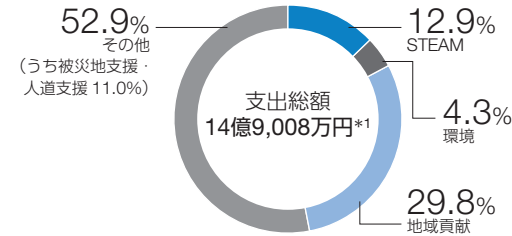
<https://www.hitachi.co.jp/sustainability/sc/vision/index.html>

社会貢献関連費用および参加人数

活動・実績

日立グループおよび公益財団法人日立財団は、若い世代を育成する取り組みや、義援金寄付を含む被災地支援などを行っており、2022年度は社会貢献関連費用として14億9,008万円を支出しました。また、日立グループの23,576人（総従業員の7.3%に相当）の従業員が社会貢献活動に参加しました。

2022年度 社会貢献関連費用内訳



*1 日本：日立製作所およびグループ会社86社、計87社、日立財団
海外：183社
支出額には、金銭・現物寄付、自主プログラム、従業員の参加・派遣、施設開放および従業員募金を含む。ただし、従業員の参加・派遣にかかわる人件費は集計対象外

従業員の社会貢献活動の支援

制度

日立は、従業員一人一人が社会課題を自分ごととして捉えて社会貢献活動に積極的に取り組むことが組織全体の成長につながると考えており、従業員が社会貢献活動に参画しやすい仕組みづくりを推進しています。

従業員と会社が一体となって寄付を行う社会貢献スキーム (マッチングファンド)

日立は、従業員の積極的な社会貢献活動への参画を促進する仕組みとして、マッチングファンドを導入しています。このマッチングファンドは、災害・事故・疫病などのさまざまな社会問題が発生した際に、従業員が寄付を行うと会社側も同額を寄付する社会貢献スキームです。これにより、社会貢献活動における従業員のエンゲージメントを向上させ、日立グループ・アイデンティティの体現とさらなる浸透を推進していきます。

2022年度は、マッチングファンドにより総額約1,300万円の寄付を実施しました。

ライフサポート休暇制度の導入

日立製作所は、ライフステージごとの休暇取得へのニーズを踏まえ、仕事と「家庭」、「キャリア開発」、「社会貢献」の両立と、自律的な働き方を促進するための多目的有給休暇制度、「ライフサポート休暇」を2023年4月から導入しました。本制度は年5日まで取得が可能で、業務外のボランティア活動のほか、骨髄・臓器採取などのドナーとしての対応も事由の対象となっています。

社会貢献活動

活動・実績

日立は、次世代を担う人財の育成を主軸とした活動を推進しており、グローバルから地域社会まで幅広い課題の解決に積極的に取り組んでいます。具体的には、社会に変革をもたらす次世代リーダーや理工系人財の育成を支援するプログラムを実施しています。特にAI(人工知能)やビッグデータ利用などの情報技術の急速な発展に伴い、IT人財の育成が世界的な課題となっていることから、最先端技術を活用して創造力・表現力・問題解決力を発揮できる人財の育成手法として重要視されているSTEAM分野の教育にかかわる活動に注力しています。

Social

人財

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

人権

責任ある調達

品質、顧客満足

社会貢献活動

エグゼクティブサマリー

社会貢献活動

社会データ

社会貢献活動事例

分野	活動事例	BU/グループ各社
STEAM	電子顕微鏡を用いた 理科教育支援活動 https://www.hitachi-hightech.com/jp/science-edu/	日立ハイテク
環境	One Hitachi Earth Monthの実施(従業員による環境ボランティア活動の推進) https://www.hitachi.us/about/hitachi/sustainability/turning-ambition-into-action	日立アメリカ
地域貢献	日立ヤングリーダーズ・イニシアティブ(ASEAN 7カ国および日本の大学・大学院生を対象とした次世代リーダー育成プログラム) https://www.hitachi.co.jp/sustainability/sc/contribution/next-generation/index.html	日立製作所、 日立アジア
	環境配慮で、ねぶたの伝承と発展に貢献 https://social-innovation.hitachi/ja-jp/article/nebuta/	日立製作所

トルコ・シリア地震被害に対する支援

日立は、2023年2月にトルコ共和国南東部のシリア・アラブ共和国との国境付近で発生した地震で被災された方々の救援や被災地の復興支援のため、日本赤十字社および日本ユニセフ協会に対してそれぞれ2,000万円、合計4,000万円の寄付を実施しました。

さらに、マッチングファンドを通じて、日立全体で赤十字を通じた寄付も行っています(2022年度実績:約700万円)。また、日立エナジーや日立ヴァンタラでも個別の寄付プログラムを実施しました。

トルコ・シリア地震に対する支援について
<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2023/02/0215a.pdf>

ウクライナに対する人道支援に向けた寄付

日立製作所は、ウクライナで被害にあわれた方々や周辺地域に避難された方々への継続的な人道支援を目的として、2022年度に国境なき医師団日本を通じて880万円相当の物品寄付を実施しました。

さらに、マッチングファンドを通じて、日立全体で赤十字、ユニセフ、ワールド・セントラル・キッチンへの寄付も行っています(2022年度実績:約540万円)。

次世代人財の育成とエンパワーメント

マテリアリティ

日立ヤングリーダーズ・イニシアティブを通じたアジアの次世代リーダー育成

日立製作所と日立アジアは、アジアの次世代を担う若手リーダー育成を目的に「日立ヤングリーダーズ・イニシアティブ」を1996年より開催しています。ASEAN7カ国と日本の大学生・大学院生を対象に、フォーラム・ワークショップ・フィールドワークからなる4日間のプログラムを実施し、学生たちはASEANが直面する社会課題について議論や意見交換を行い、社会課題解決のための提言を発表します。2022年7月末時点で累計405人に上る卒業生たちが、国際機関や行政、企業、NPOなどさまざまな分野で活躍しています。

理工系人財育成支援

日立は、次世代理工系人財の育成をめざし、若い世代が科学技術に触れられる機会を提供しています。

日立ハイテクでは、自社製品である卓上型電子顕微鏡を用いて、1990年代から理科教育支援活動を継続しています。現在までに31の国・地域にて、出前授業や卓上型電子顕微

鏡の貸し出しを実施しており、年間5万人に学びの機会を提供することを目標としています。今後もより多くの国や地域に対し、科学技術に関する興味関心の喚起と研究活動支援に寄与することで、科学・医療技術等の発展につながる人財育成への貢献をめざします。

GlobalLogicインドにおける社会貢献活動

GlobalLogicは、社会的責任を果たすことを重視しており、その想いはモットーである「Grow to Give」にも表れています。企業の成長とともに、従業員がコミュニティを支援し、社会に貢献していくことが重要だと考え、活動を推進しています。主要な施策の一つに「Educate to Empower」プログラムがあります。本プログラムでは、質の高い教育をインド全土の約6,000人の子どもたちへ提供しています。特に女子への支援に力を入れており、すべての子どもたちが公平な学習機会を得られるよう、生徒の半数以上を女子とすることを原則としています。もう一つ注力している施策が「STEMイノベーション・ラボ」です。公立小学校に「STEM&ロボティクス・ラボ」を設置することで、理工系分野の学習を支援する環境の構築をめざしています。また、女子生徒に対しても、ロボット工学など、21世紀型スキルを楽しく学習できる機会を提供しています。これらの施策を通じて、GlobalLogicは、誰もが公平に学べる機会を提供し、未来を担う優秀なイノベーターの育成を支援していきます。

Social

人財

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

人権

責任ある調達

品質、顧客満足

社会貢献活動

エグゼクティブサマリー

社会貢献活動

社会データ

公益財団法人 日立財団を通じた社会貢献活動

日立財団は、創業者小平浪平の「企業活動を通じて社会に奉仕する」という思いを継承しつつ、現在の社会課題を踏まえ、「学術・科学技術の振興」「人づくり」「多文化共生社会の構築」の3分野を中核領域に据えた公益に資する活動を展開しています。

2022年度の取り組み

「学術・科学技術の振興」の分野においては、「日立感染症関連研究支援基金」の助成対象研究プロジェクト5件の中間報告会を開催しました。また、第3回「日立財団アジアイノベーションアワード」の募集、選考、採択を実施し、受賞者の研究を公開しました。「人づくり」の分野では、小学校における「日立みらいイノベータープログラム」を実施しました。このほか、「多文化共生社会の構築」の分野についても、フォーラムを実施し、2023年度から発行する電子ジャーナルのワーキンググループを設置し、具体的な検討を開始しました。

日立財団の活動事例

分野	項目	概要
学術・科学技術の振興	倉田奨励金 https://www.hitachi-zaidan.org/activities/kurata/index.html	社会課題解決に資する自然科学・工学研究および哲学・思想・歴史などを探究する人文・社会科学研究を助成する事業 [2022年度末までの累計助成件数：1,570件]
	日立財団科学技術セミナー https://www.hitachi-zaidan.org/activities/seminar/index.html	市民の皆さまに科学の面白さを伝えることを目的に、最先端の科学技術トピックスに触れる機会を提供する啓発事業 [2022年度は「ブレイン・デコーディングー脳内イメージをAIで解読する」を開催]
	第18回 日立財団科学技術セミナー https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics093.html	
	日立財団アジアイノベーションアワード https://www.hitachi-zaidan.org/activities/award/index.html	ASEAN地域の社会課題解決に資する科学技術イノベーションの研究および研究開発の成果に対する表彰事業 [2022年度末までの累計表彰件数：40件]
人づくり	日立感染症関連研究支援基金 https://www.hitachi-zaidan.org/activities/fundsupport/index.html	COVID-19で顕在化した課題をデータやエビデンスに基づいて学術的に調査、分析、考察し、その知見や研究成果を広く国際的に共有することを目的とした研究助成事業[採択件数：5件]
	日立みらいイノベータープログラム https://www.hitachi-zaidan.org/activities/innovator/index.html	これからの理工系人財に求められる資質と能力を養う日本国内の小学校高学年向け理工系人財育成支援事業 [2022年度末までの累計実施校数・受講児童数：18校・1,410人]
	理工系女子応援プロジェクト https://www.hitachi-zaidan.org/my-tomorrow/index.html	日本の女子中高生の理工系分野への興味・関心を喚起する理工系女子育成支援事業 [2022年度は、理工系女性ロールモデルとの対談とワークショップを実施]
多文化共生社会の構築	パイオニアトーク https://www.hitachi-zaidan.org/my-tomorrow/dialog/vol8/01.html	
	多文化共生社会の構築 https://www.hitachi-zaidan.org/activities/symposium/index.html	多様な立場や価値観を認め合える「多文化共生社会」の実現を目的に、市民の皆さまの意識改革を促す啓発事業 [2022年度は、「外国につながるある高校生たちの「活躍する力」を拓く～教育の実態が問いかける支援のあり方～」をテーマにオンラインにてフォーラムを開催。また、2023年度から発行する電子ジャーナルのワーキンググループを設置し、取り扱う学術分野、想定読者、編集体制などの具体的な検討を実施。]
	外国につながるある高校生たちの「活躍する力」を拓く https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics098.html	

日立財団Web サイト

<https://www.hitachi-zaidan.org/>